

# 牧野で問題となる害虫について

- ・ ノサシバエ
- ・ 吸血性アブ類
- ・ マダニ

# ペルタ ッグ製品概要

## <分類>

動物用医薬品（普通物）

## <有効成分>

ペルメトリン15%

**休薬期間 なし**

## <効能効果>

牛の外部寄生虫（ノサシバエ、ノイエバエ、クロイエバエ、マダニの駆除）

## <用法及び用量>

本品を付属の装着用ピンと、アプリケーションター（装着器）により、牛の耳に片耳1枚ずつ、1頭あたり2枚を装着する。



# 包装規格



- 10枚×2袋入り小箱
- 1ケース100枚入り
- 装着ピン入り

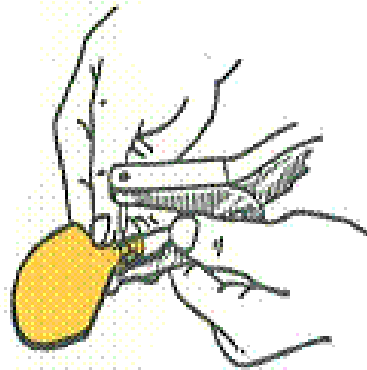


# 装着方法

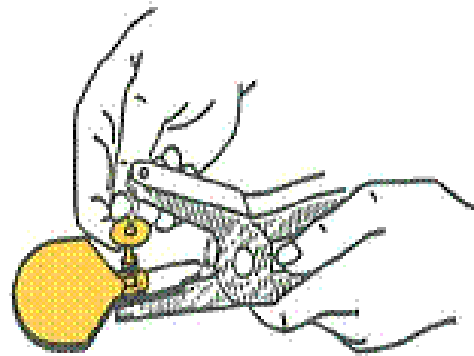


Allflex社製の  
アプリーケーターを用いる。

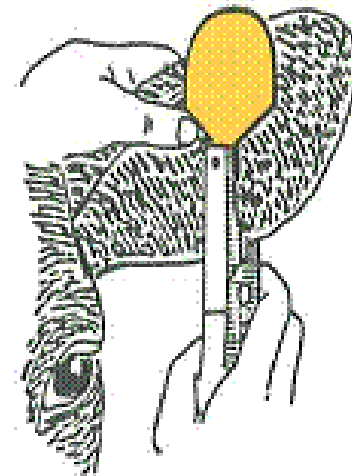
〈順序〉 ①先端クリップにはさみ込む



②ピンをさし込む



③装着する



# 牛体への安全性

- 鹿児島大学農学部  
ペルタッグ「SLT」**4枚分**のペルメトリン乳剤を牛体に散布しました。
- 茨城県大家畜経営センター  
**2倍量**のペルタッグ「SLT」を装着しました。

いずれの試験においても血液検査、症状観察の結果、問題となるような変化は認められませんでした。

## 放牧地における外部寄生虫の影響について

農林水産省草地試験場においてホルスタイン去勢雄牛にペルタッグを装着し害虫を防除。6ヶ月間の増体量を無装着区と比較した。

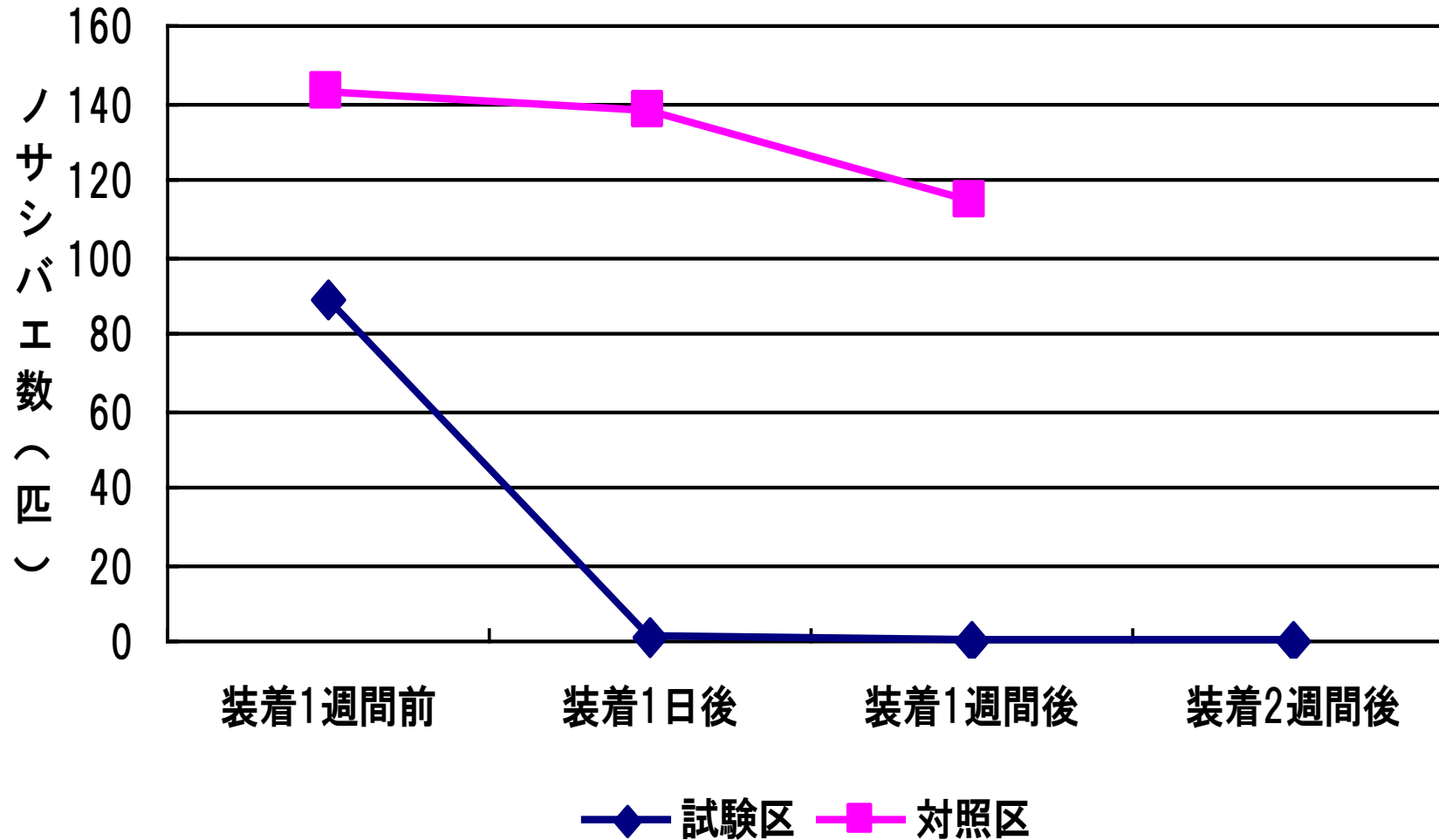
結果：ペルタッグ装着区が、  
0.24kg/日/頭増体がよかった。

**1頭あたり6ヶ月間の経済的損失**

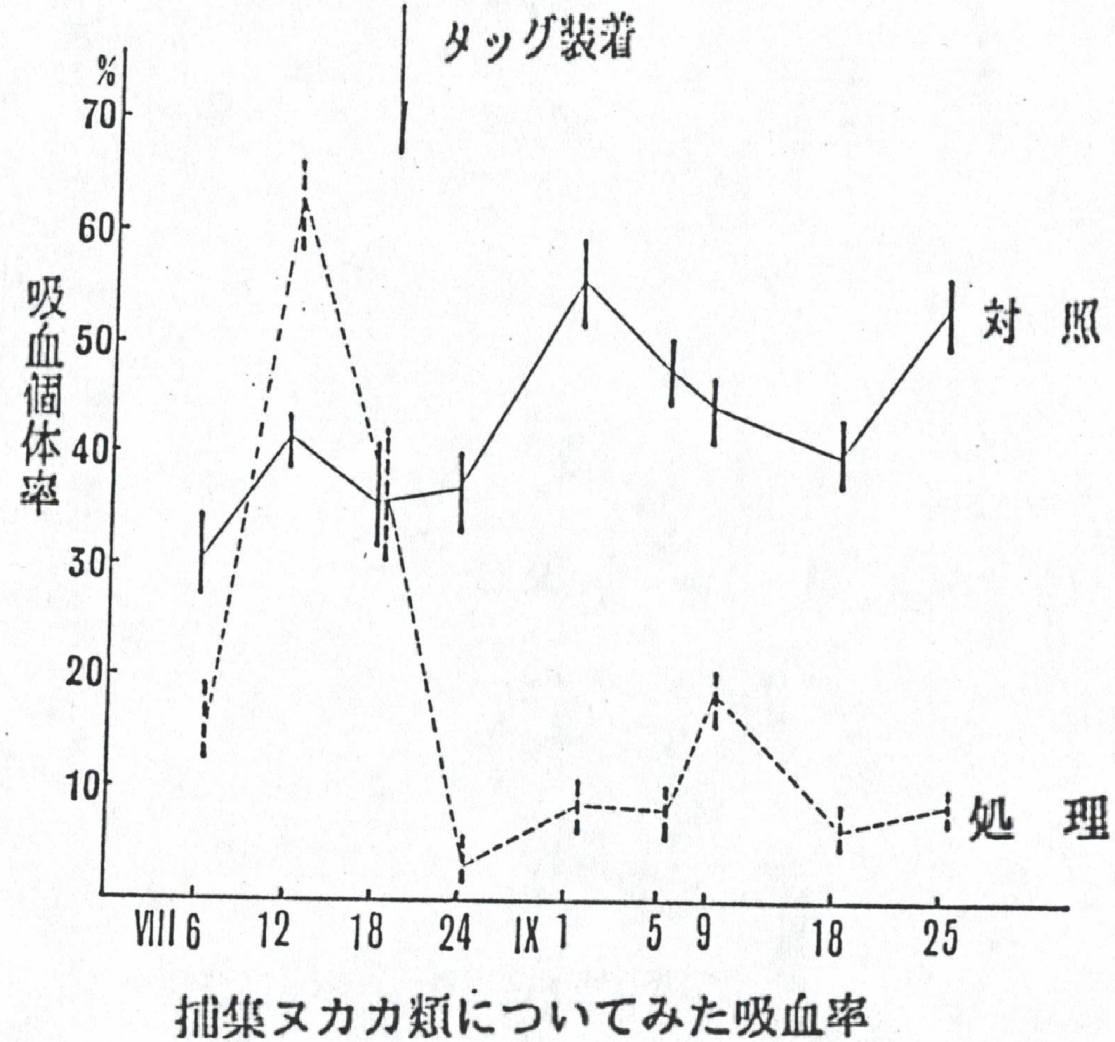
$0.24\text{kg} \times 180\text{日} = 43.2\text{kg}$

$43.2\text{kg} \times 0.65 \text{ (歩留)} \times 1,000\text{円/kg} = \underline{28,080\text{円}}$

# ペルタッグのノサシバエに対する効力

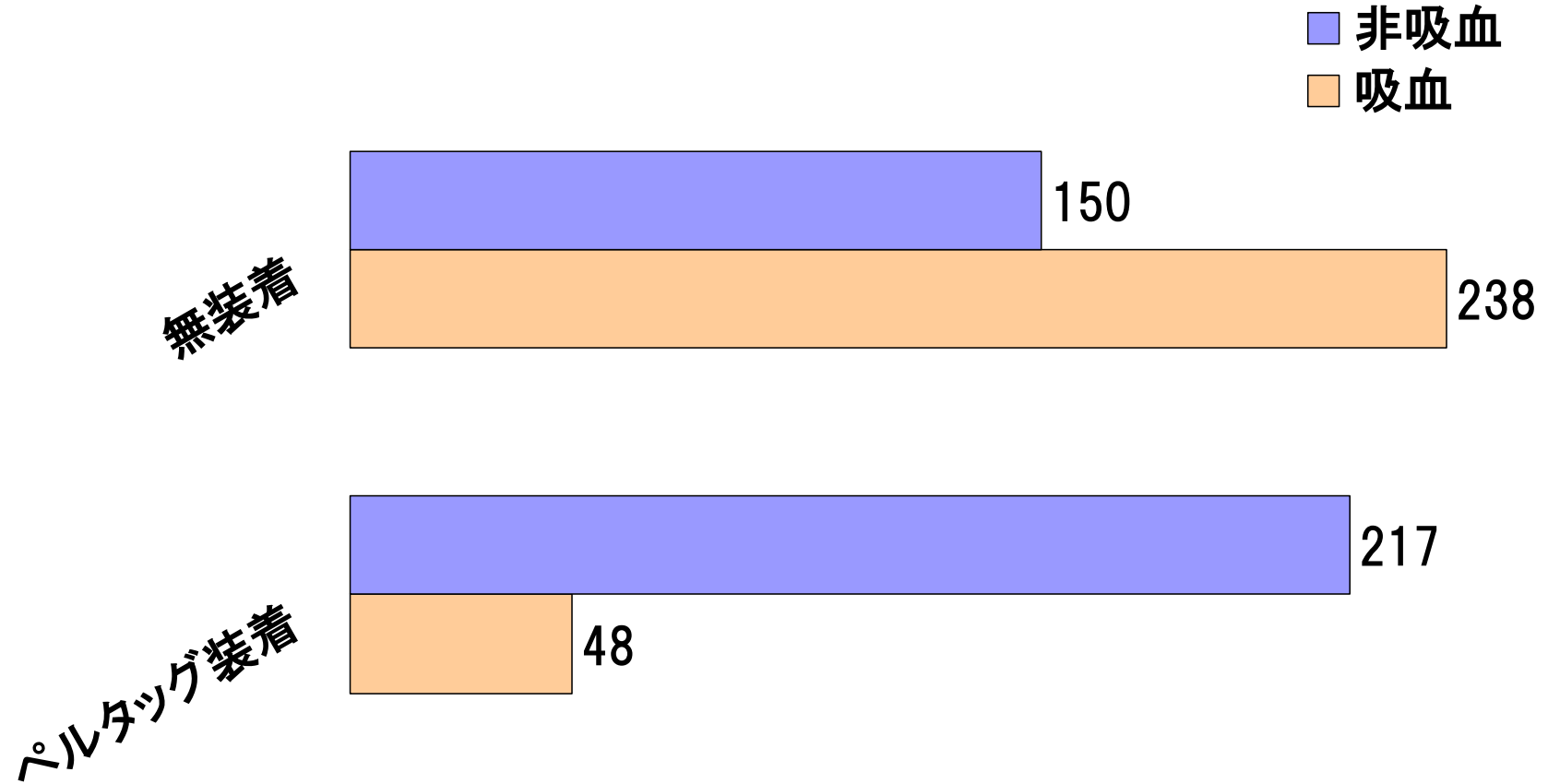


# ヌカカに対する効果



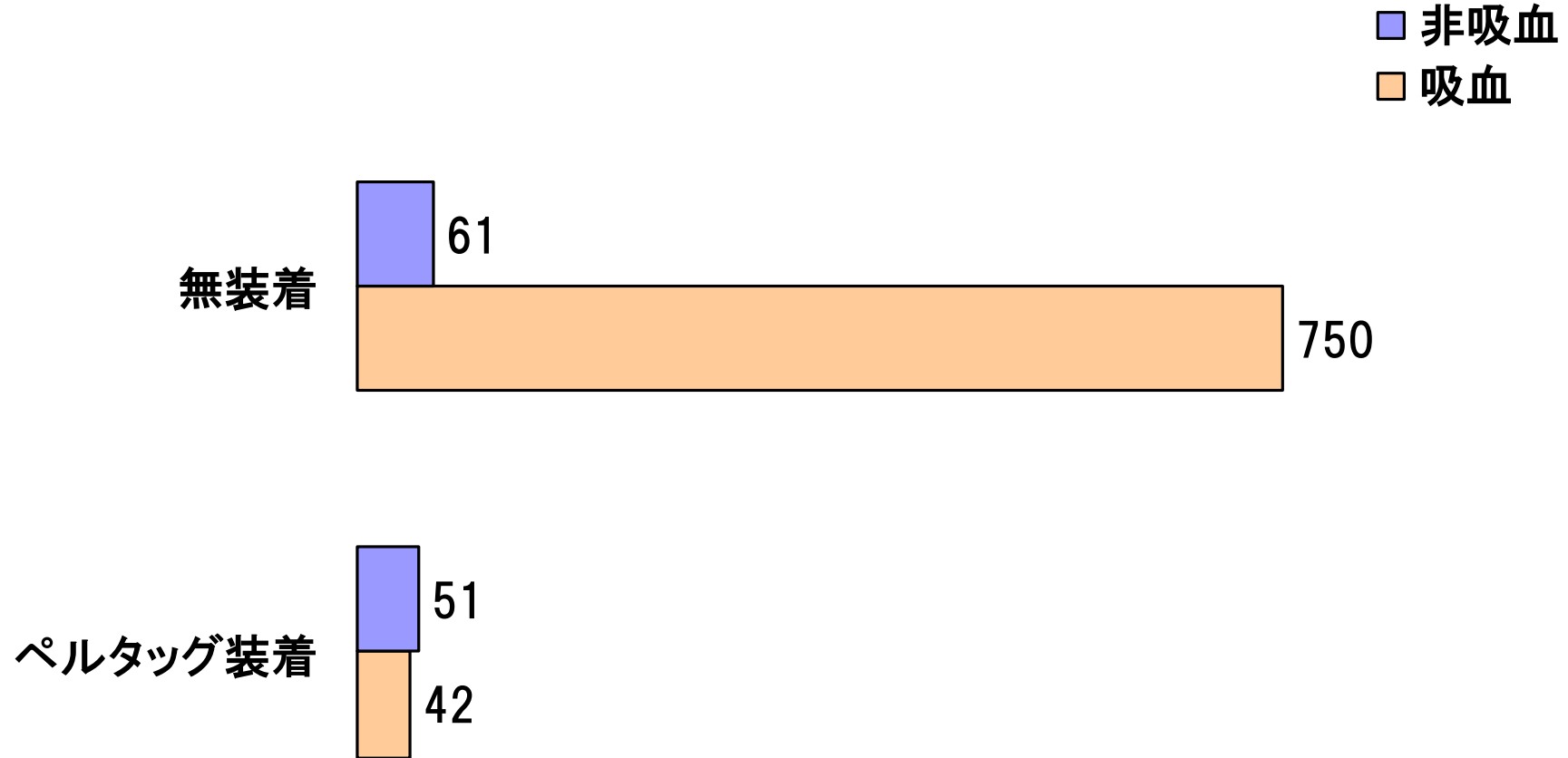


## アニマルトラップに捕獲されたヌカカ数



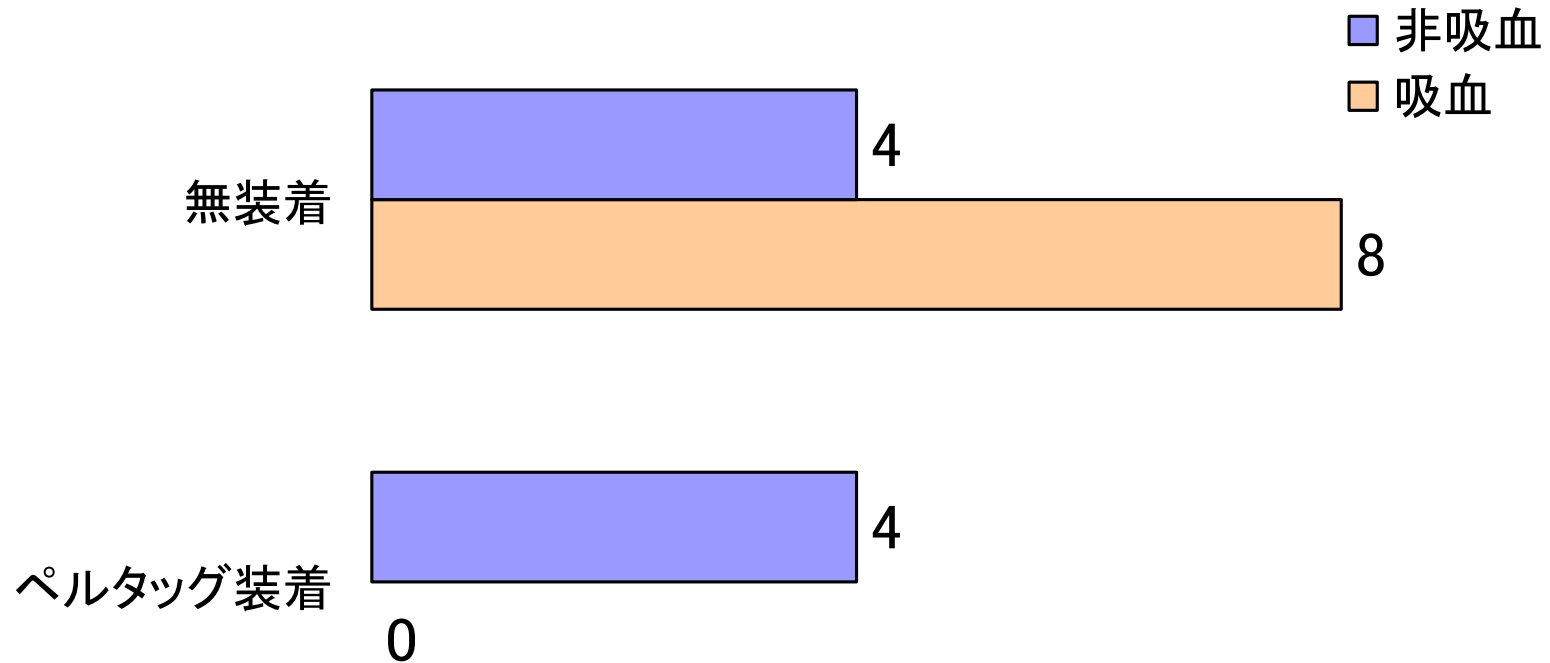
ペルタグの装着により吸血被害を抑えることができます。

## アニマルトラップに捕獲されたブユ数



ペルタッグの装着により吸血被害を抑えることができます。

## アニマルトラップに捕獲されたアブ数



ペルタグの装着により吸血被害を抑えることができます。

# アブはなぜ吸血するのか？



ニッポンシロフアブ

*Tabanus nipponicus*

体長約15mm

ウシアブ

*Tabanus trigonus*

体長約24mm



雌成虫が卵胞発育のために吸血する

# 吸血性アブ類による害

強いストレス



採食・休息行動への影響

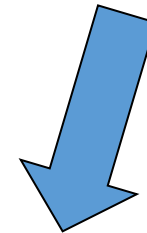


日増体重の減少  
泌乳量の低下



**畜産経営に経済的損失**

牛白血病などの  
重要疾病を機械的に媒介



# 殺ダニ剤 ダニレスについて



# ダニレスの製品情報

- 成分

有効成分 エトキサゾール 1.0%

基 剤 流動パラフィン他

- 効能効果

放牧牛に寄生するマダニの脱皮阻害・マダニ卵の孵化阻害

- 用法用量

体重10kgあたり本品1mLを牛（搾乳牛を除く。）の背中線にそって頸部から尾根部までの皮膚に滴下投与する。

- 休薬期間

7日間

- 規格

800mℓ×10



# 商品コンセプト

- 孵化阻害、脱皮阻害の作用を有する**IGR**  
(**Insect Growth Regulator**) **活性駆除剤**であり、  
**ほぼ100%**の効果をもつ。
- 哺乳動物に対し安全性が高い(**普通物**に分類)。
- 有用昆虫に影響が少なく、草地等への環境に優しい。



# ダニレスの処理手順

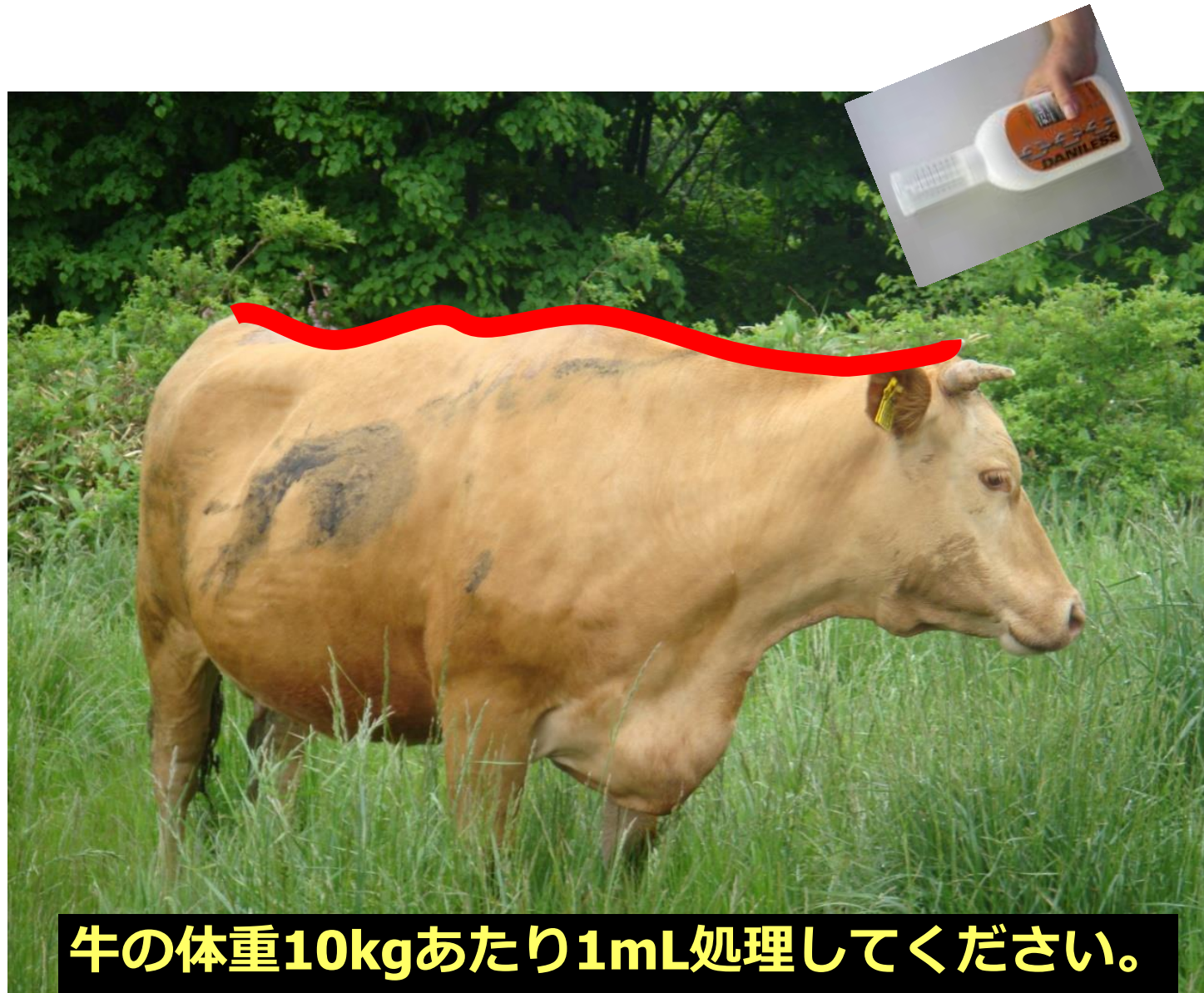
アプリケーター



ダニレス容器 (800mL)

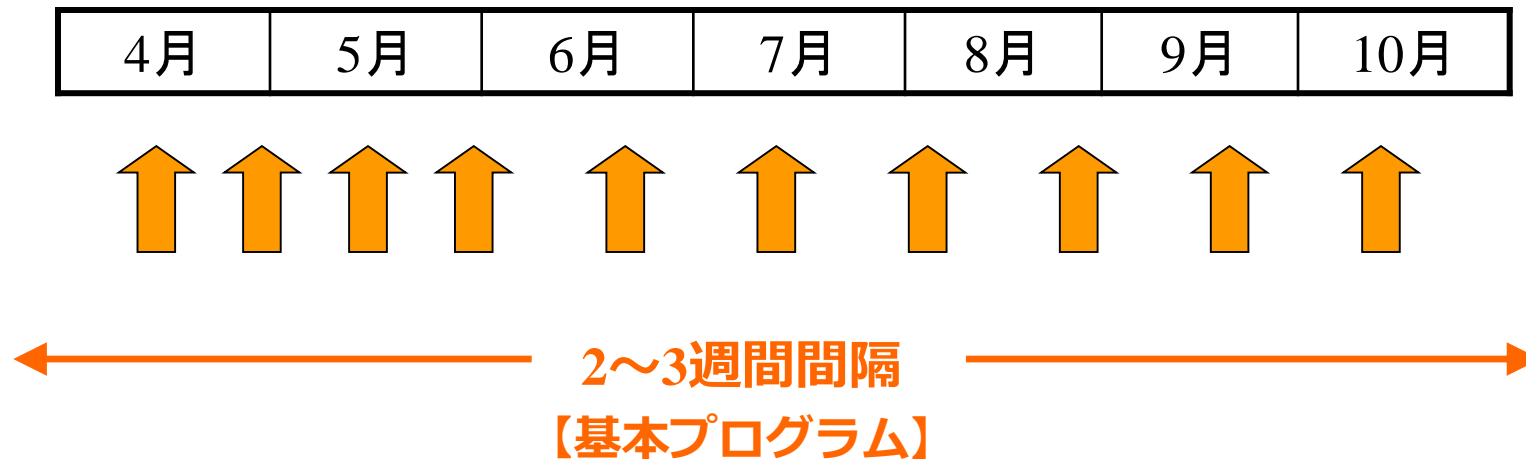


# ダニレスの処理方法



**牛の体重10kgあたり1mL処理してください。**

# ダニレス推奨投与プログラム



ダニレスは、畜体・環境に優しいダニ専門剤なので  
単独での使用がお奨めです。

# ダニレスとフルメトリン製剤比較

	ダニレス	フルメトリン製剤
薬剤区分	外部寄生虫薬剤 (普通物)	外部寄生虫薬剤 (劇薬)
外部寄生虫に対する 効能効果	放牧牛に寄生するマダニの 脱皮阻害及び孵化阻害 ※IGR作用	マダニ、ハジラミ、シラミ及び 疥癬虫の駆除 ※害虫の神経系に作用
安全性	ADI (日本) 0.04mg/kg/day	ADI (JMPR*) 0.004mg/kg/day
懸念事項	右記の問題点をクリア	長期連用による薬剤抵抗性 家畜やヒトの皮膚に対する刺激性 (ヒリヒリする、牛が暴れるなど。) 有益な昆虫類に影響

\* : WHO/FAO Joint meeting of pesticide residue

# フタトゲチマダニとは？



フタトゲチマダニ(左から成ダニ、若ダニ、幼ダニ)



フタトゲチマダニの飽血成ダニ(上)と成ダニ(下)



フタトゲチマダニの産卵



# マダニの寄生が多い部位



マダニは牛体の皮膚の柔らかい部位を好んで吸血します。



試験実施牧場



マダニの寄生状況:耳  
(薬剤処理前)



マダニの寄生状況:内  
股  
(薬剤処理前)



マダニの寄生



口や鼻の周りに  
マダニはたくさん付着している



顔面で吸血する若ダニ、幼ダニ



幼ダニ



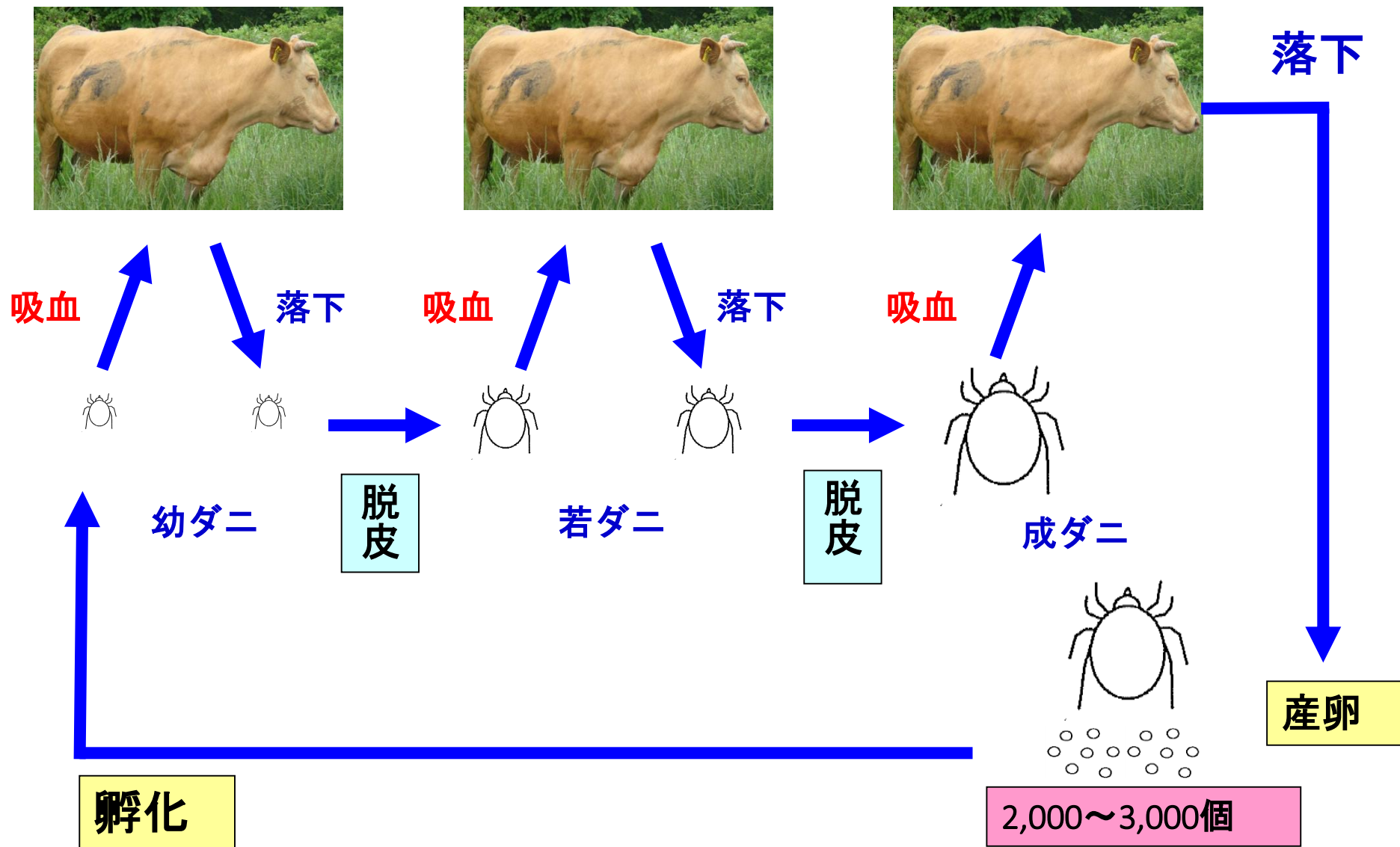
成ダニ

草の上で牛が来るのを待つ  
マダニ

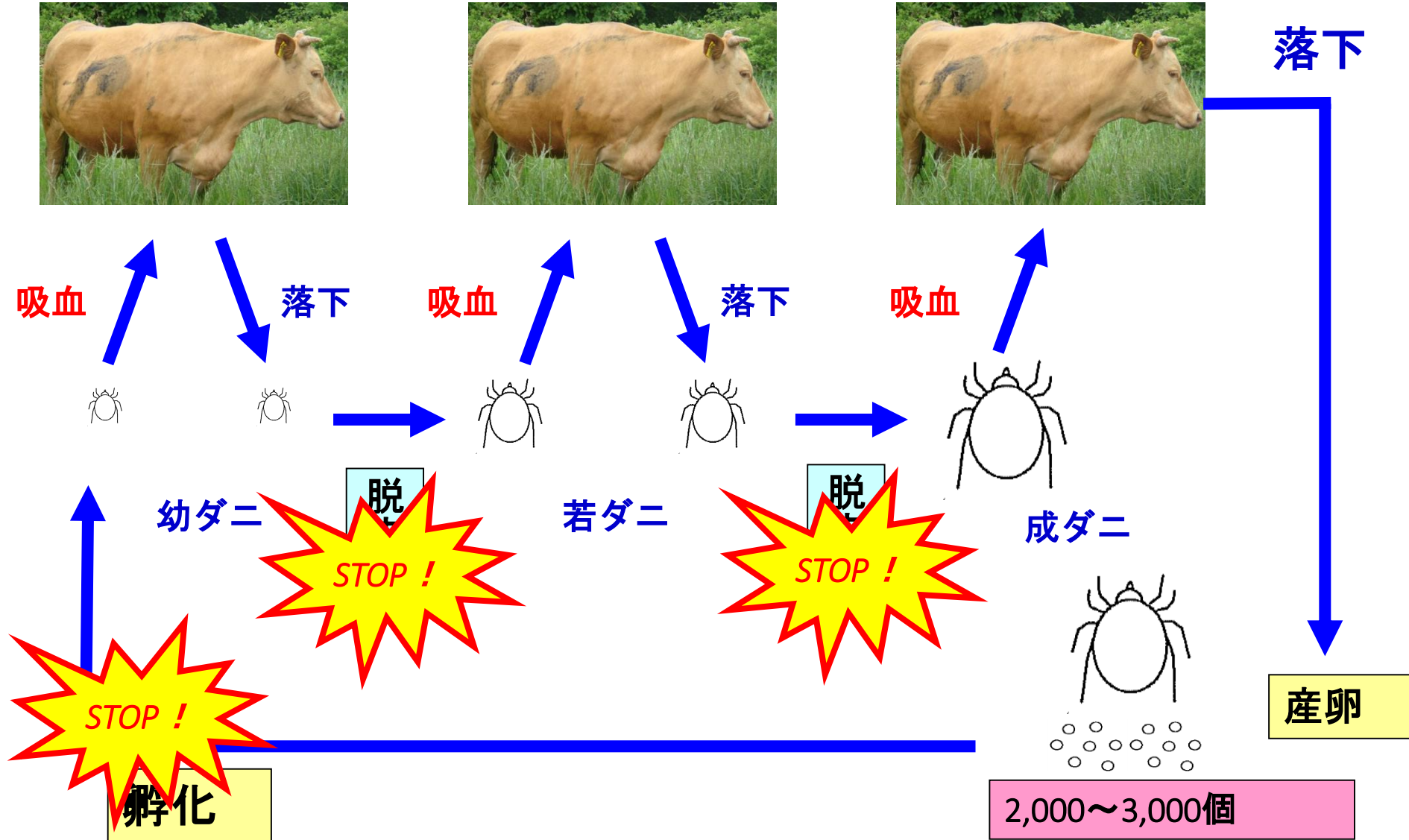




# フタトゲチマダニの生活環

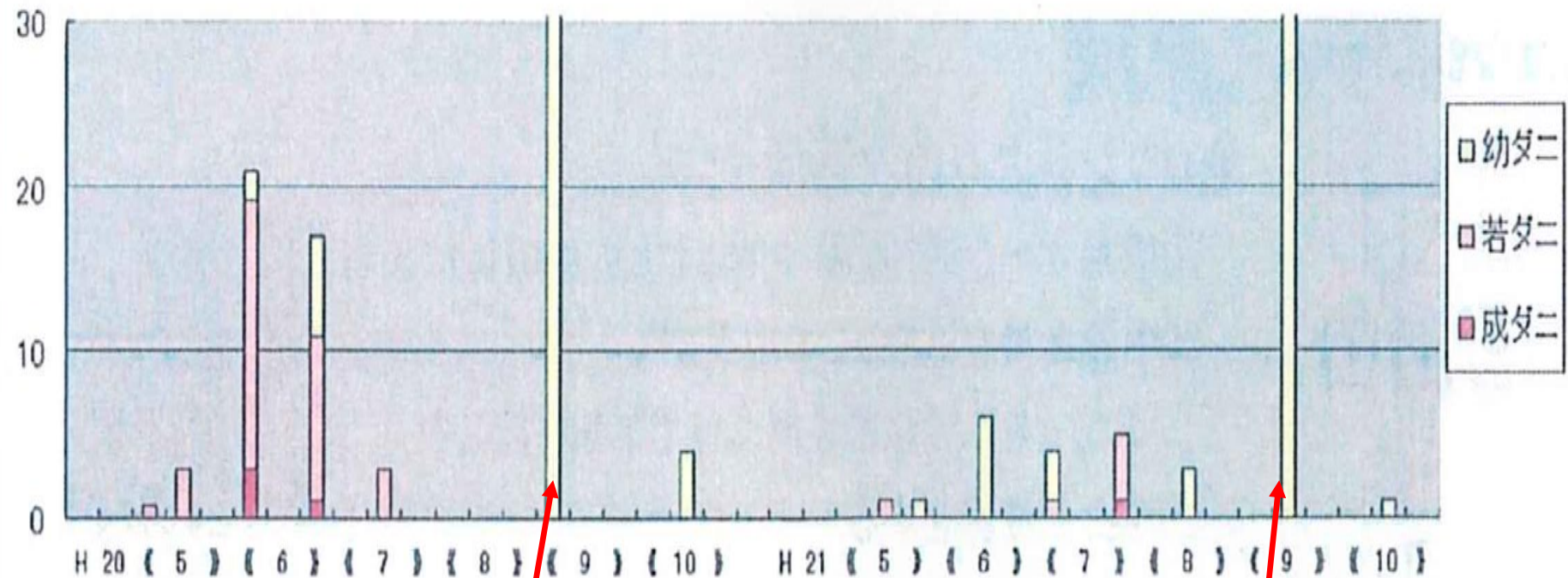


# ダニレスはココに効く！



# ダニの採集状況

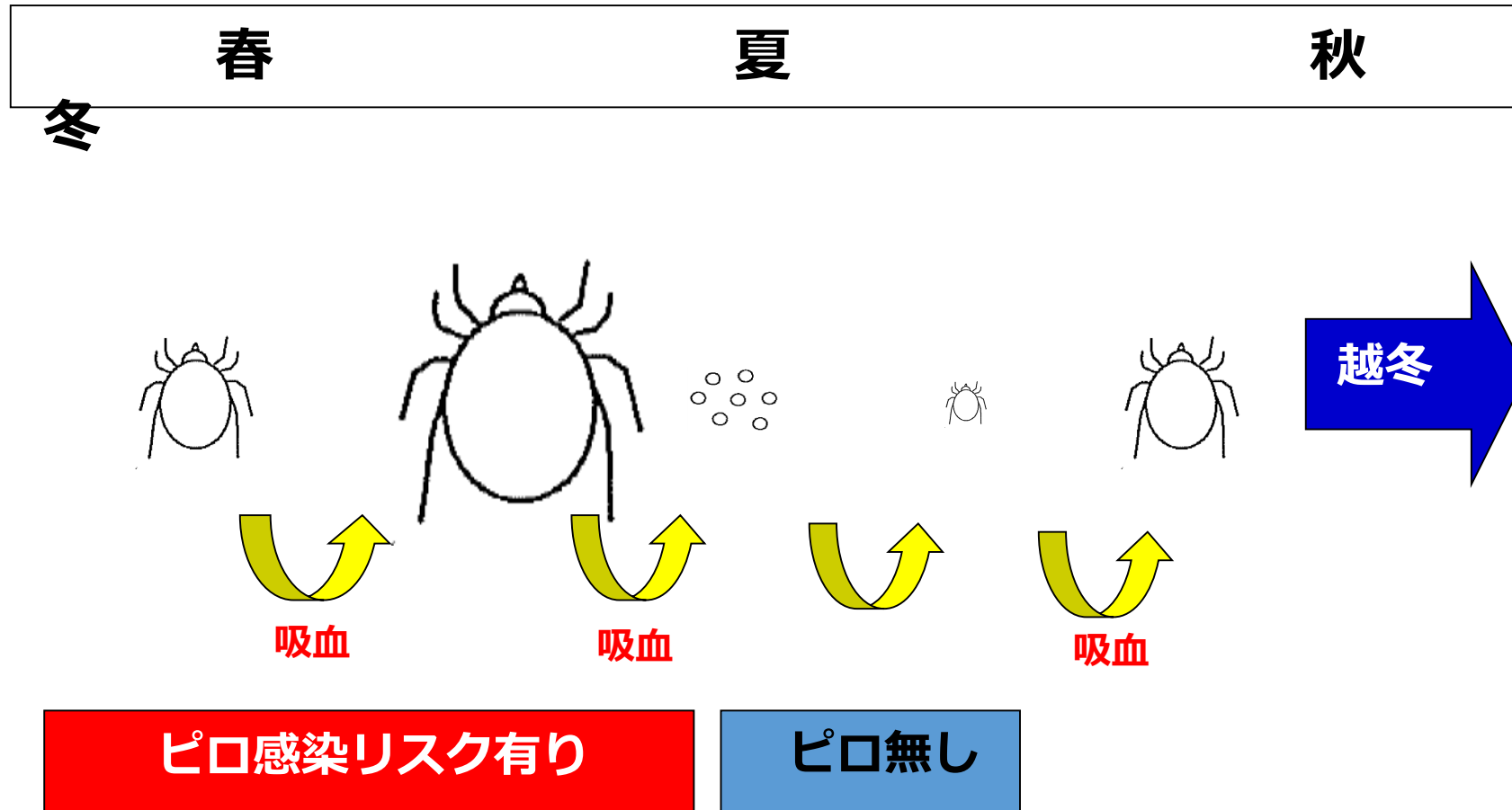
北海道檜山家保管内A牧場



96匹

109匹

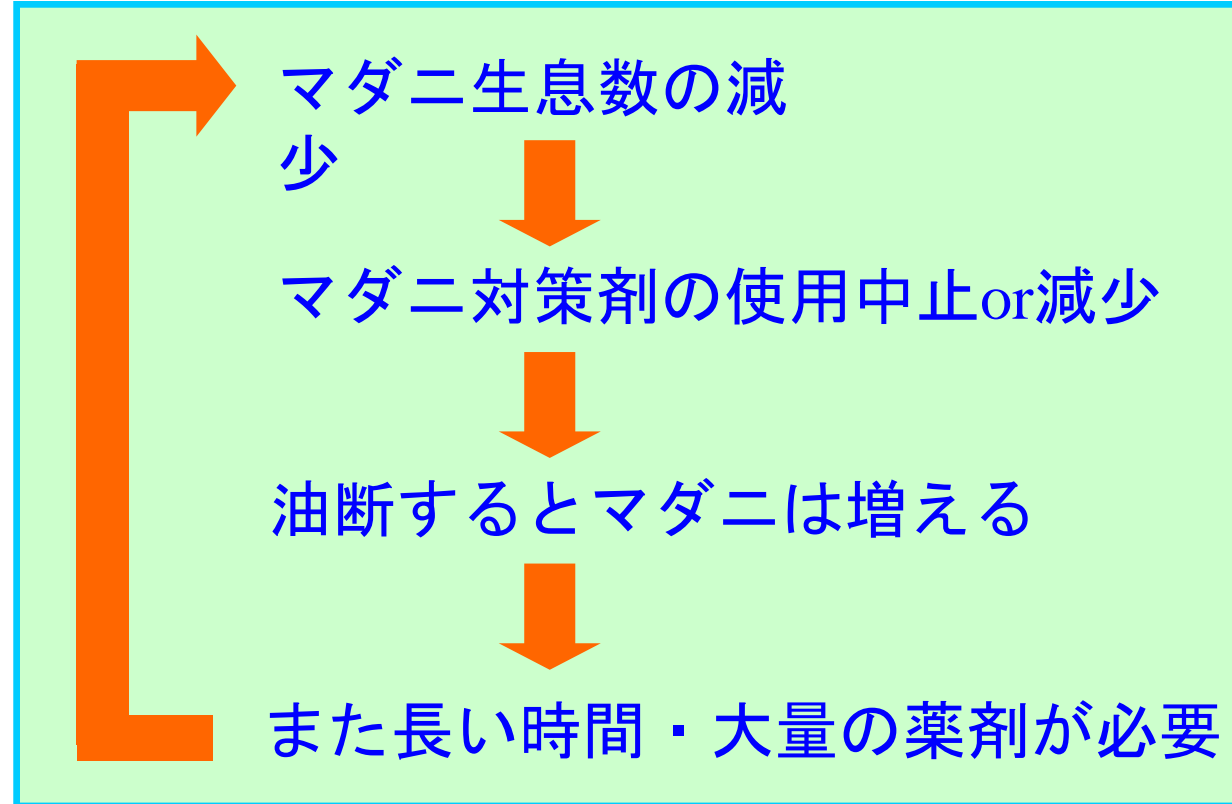
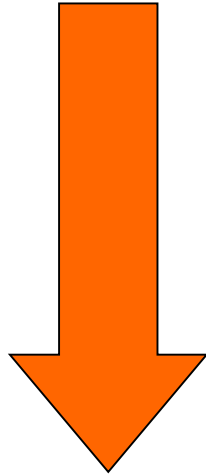
# フタトゲチマダニとピロ原虫の関係



夏季の卵と秋の幼ダニ対策が非常に効果的です。

# 油断は禁物！

マダニの  
コントロール



新規放牧開始時からダニ対策のプログラム化